

急性肝膵臓壊死症

Acute hepatopancreatic necrosis disease : AHPND

特殊な毒素タンパク質を産生するビブリオ属細菌が原因で発生する疾病で、死亡率が非常に高いことが特徴である。この疾病が原因で、海外のエビ類養殖生産国では生産量が半減し、世界的にエビ類の価格が高騰しました。

1 病原体

細菌の *Vibrio parahaemolyticus* のうち、この病気の原因となる毒素を産生する遺伝子を持つものが病原体として報告されていますが、*V.harveyi* や *V. owensii* などにも同じ毒素の遺伝子を持ち、本疾病の原因となるものがあるといわれています。

2 感受性種

シロアシエビ（バナメイエビ）、ウシエビ、コウライエビおよびクルマエビ。

3 病気の特徴

- ・ 外観症状として、肝膵臓の白色化や退色、黒点や黒縞の発生、顕著な萎縮、凝固があります。また、殻の軟化や消化管内容物が減少し消失することも観察されます。
- ・ 瀕死の個体は池の底に沈みます。
- ・ 死亡率は、100%に達する場合があります。

4 発生状況

国内： 令和2年10月に初めて養殖場で発生が確認されています。

海外： 中国、ベトナム、マレーシア、タイ、メキシコ、フィリピン、アメリカ、台湾

